

# 成長の一途 今後の活躍に期待 テニス部

テニス部は一、二年生のみの若いチームだ。総体の前のテニスコートにはラリーのフォーメーションを意識しながら練習する部員たちの姿があった。

キャプテンの高木陽菜さんは「先生や指導者がいない時期の練習は大変だったが、教えてもらい上手く打てた時はやりがいを感じた。大会では自分のベストを尽くし、最後の一点まで諦めずに頑張りたい」と話してくれた。顧問の深見先生は「全員に注目してほしい。特にダブルスの連携がすごい」と話した。

そして試合当日。六月一日から四日にかけて、県営テニス場で春季総体が行われた。団体戦一回戦の相手は足羽高校。美



点を取り喜ぶ選手たち



力強くサーブを打つ選手

方高校はダブルスとシングルス一組が負け、一回戦敗退となったが、最後のシングルスは勝利し意地を見せた。

個人戦ダブルスは、石塚和夏、中西光咲ペアと、高木陽菜、中山真憂ペアが出場した。二組とも若狭高校と対戦したが、一六、三六で惜しくも負けてしまった。個人戦シングルスは、中山真憂、石塚和夏が一回戦を突破。中山さんは、最初の二ゲームを奪われたものの、そこから六ゲームを取り逆転勝ちした。石塚さんは

ゲームカウント五―五の大接戦に。そこから二ゲームを先取し七―五で勝利した。キャプテンの高木さんは「この大会で自分は何がでなかつたのかはつきりしたので、そこを意識してこれからの練習に取り組みたい」と語った。

顧問の深見先生は「二年生の時からこのような経験ができて、来年に生かせることが強みだ」と今後に期待した。

## 全身全霊 一球に集中 卓球部

五月三十一日から六月二日にかけて、福井県営体育館で卓球競技が行われた。初日は団体戦が行われ、男子は一回戦水と対戦し三―二で敗退となった。女子は一回戦に若狭東と対戦し三―〇で



一つ一つ勝ち上がる

狙いすましてスマッシュ



圧勝。しかし二回戦は大野と対戦し三―一で敗退した。二日目の個人戦では男子ダブルス藤原・橋本ペアが三回戦まで順調に進んだが四回戦で福井

## 力を出し切るも 壁高く サッカー部

五月二十七日に三国運動公園にて、サッカーの春季総体が行われた。美方は初戦で福井工大と対戦した。強豪校を相手に力を出し切ったが〇対七で涙を飲む結果となった。

試合後にキャプテンの都築晴人さんは「このチームの強みは攻めが強いところ。自分は皆が思い描くようなキヤ

商業に惜しくも敗退した。女子シングルスは、中村と今安が、男子シングルスは小沼、藤原、大同、小堀、宮前が勝ち上がり三日目まで駒を進めた。宮前は五回戦まで進んだが北信越には届かなかった。



気持ち込めてサーブ

藤原尚大さんは「後輩達はほとんどが初心者でスタートしたが、確実に成長しているので頑張っしてほしい」と次世代への期待を語った。顧問の出口先生は「今の三年生は一つ上の先輩が少なかったこともあり、チーム作りを一から頑張った世代。今大会では目標の成績には届かなかったが、これまでの練習の成果は出せたと思う」と三年生を労った。

プテンではなかったと思うが、一年間ついてきてくれてありがとう」と語った。副キャプテンの大崎結矢さんは「周りが経験者ばかりの中で自分なりに努力し頑張ってきた」そして「あまり支えられなかったけれど、チームを引っ張ってくれてありがとう！」とメッセージを送った。

出し合って皆で頑張ろう」と呼びかけた。一・二年生は先輩たちの分までリベンジを果たしたいところだ。



両者激しい攻防を  
繰り広げる

---

---

---

---

---

---

---

---